

# Compass

# 7

Free Magazine  
July 2013  
Vol.117

夏スイーツ。



## Compass

2013.7.1 vol.117

【街角ごはんはす】

表紙 撮影:デジカ/寺田 雄一(寺田デジカ事務所)  
撮影場所/東証機 南堂

STAFF  
発行人:藤原真成/西村 純子  
表紙:特約デジカ/寺田 雄一(寺田デジカ事務所)  
デジカ/デジカ/A.I.

発行/街角ごはんはす株式会社  
〒957-0056 新潟県新発田市大字町7-1-9  
TEL 0254-28-8488 FAX 0254-28-8439  
www.machikado.jp E-mail info@machikado.jp  
【街角ごはんはすFacebookページ】  
www.facebook.com/machikadocompass

## CONTENTS

- 4 特集 **夏スイーツ。**
- 12 菊水通信 大人の嗜み
- 13 Spiral Life ~終わりのないパタへの旅~  
第23回 時間の書籍された川
- 14 手しごと物語。  
硝子器
- 15 今月のとびきり  
冷製パスタ
- 16 れこめん道
- 17 寺日和 ~草履寺の記憶~  
第23回 安兵衛の母の日
- 18 なべちゃん健康通信
- 19 塩津潟と都岐沙羅柵のロマン

### 24 Event Info

- 27 街角いいいたいほ~だい
- 29 クーポンコーナー
- 30 クイズ&プレゼント
- 31 しぼ犬しば猫

25・7・1



新発田川(塩津潟遺跡付近) 撮影/吉成悠博

## 塩津潟と都岐沙羅柵のロマン

伊藤 國夫

### 〈第2回〉塩津潟の舟運

本誌6月号の「400年の鹽津を守る」に強い共感を持ちました。「塩津潟にも長い歴史があるからです。」

塩津潟が歴史資料に登場するのは、歴綫図(1060年)が初見で、古文書では胎内市の文化財「塩津をさけりた高井遺跡」(1777年)に「しづ」塩津と書かれています。

塩津潟の成立は9世紀の真鍮地帯の地殻変動によるものとする研究者がいますが、私はそれ以前にさかのぼれると考えています。

塩津潟を囲うようにして古代遺跡が分布し、遺跡の集積による胎内市船戸にある磯の埋遺跡(7世紀)からは「津」の文字が記された土器が出土しました。また同市大塚ひとな山(城の山)古墳

(4世紀前半)が近年発掘され、銅鏡と多くの勾玉ガラス玉、木刀など多くの副葬品が出土し大和政権ともつながりをもつ有力者の存在が判明しました。古墳周辺には、縄はなまき古墳や天野遺跡、土居下遺跡、西川内南遺跡などの古墳時代の遺跡が多く存在し、この時代からすでに塩の津運として舟運の要衝地であったと考えられます。さらに、塩津潟の中央に位置する縄文時代の菅田遺跡からは、約900年前の大型の丸木舟が出土していることから、塩津潟は縄文時代までもさかのぼれるのかもしれない。

現在は千拓などにより失われてしまった「信濃川の鹽津港」阿賀野川・榑嶋港・島尻前港・加治川・塩津潟・胎内川・荒川のルートは江戸時代まで製作された「正徳5年(1115)年越後国図」(1705年)や「元禄13年(1698)年越後国図」(1700年)によつて知ることが出来ます(両図とも新発田市文化財指定)。昔の人が舟で通った道に想いをよせてみました。



正徳5年 越後国図(新発田市立図書館蔵)より



伊藤 國夫  
新潟県新発田市長  
新潟県立大学名誉教授  
街角ごはんはす編集委員  
日本文化財協士